

文部科学大臣賞・国土交通大臣賞  
**第29回 日本少年少女オープンヨット大会（東日本地区）**  
**帆走指示書**

1. この大会に採用する規則

2009年－2012年の国際セーリング競技規則（付則Pを適用する）、（財）日本セーリング連盟規定、この大会に出場するクラス規則（この帆走指示書で変更された規則は除きます。）実施要項・レース公示とこの帆走指示書を用います。  
 定義「ゾーン」の距離は、2艇身に変更します。

2. 帆走指示書に変更がある時や選手へ知らせることがある時

大会期間中に、帆走指示書の変更がある時は、陸上本部にL旗を掲げて公式掲示板と場内放送で速やかに選手、指導者に伝えます。  
 また、選手に知らせることがある時、陸上ではL旗を掲げて公式掲示板に掲示し場内放送で連絡します。湖上では本部船にL旗を掲げて予告信号前に口頭で選手に伝えます。

3. 陸上で掲げる信号

下記の旗の掲揚又は降下を音響信号と共に行います。

- (1) L旗（掲揚）……レース委員会からの通告が公式掲示板に掲示されました。（短音1声）
- (2) AP旗（掲揚）……レースは延期されています。予告信号はAP旗降下後30分以降に発します。（掲揚：短音2声、降下：短音1声）
- (3) 黄色旗（掲揚）……A湖面のレース艇は、レース湖面に出艇しなさい。（短音1声）
- (4) 白旗（掲揚）……B湖面のレース艇は、レース湖面に出艇しなさい。（短音1声）
- (5) B旗（掲揚）……当日のA湖面の抗議の受付を開始します。（短音1声）  
 （降下）……抗議の受付を締め切りました。（短音1声）

4. レース日程

5月3日（日） レース予定及びスタート予告信号時刻

**トライアルレース（山中湖カップ ヨットレース）**

A湖面	B湖面
FJ級 SS級 ミニホッパー級上級者・初級者 シーホッパー級 SR レーザー級ラジアル・4. 7 トライアルレース 12:55	B海面でのトライアルレースは 行いません。
OP級上級者 トライアルレース 13:00	

引続き第2レース以降出来る限りレースを行うが、14:30以降のスタートは行わない。

5月4日(月) レース予定及びスタート予告信号時刻

A湖面	B湖面
FJ級 SS級 ミニホッパー級上級者 シーホッパー級SR レーザー級ラジアル・4.7 第1レース 08:55 第2.3.4レース 引続き	ミニホッパー級初級者 (6艇以上エントリーある場合) (6艇未満の場合は上級者と 一緒にレースを実施) 第1レース 08:55 第2.3.4レース 引続き
OP級上級者 第1レース 09:00 第2.3.4レース 引続き	OP級初級者 第1レース 09:00 第2.3.4レース 引続き

諸条件により第1日目に5レースを行う場合があります。その場合、第4レース終了までに全参加者にわかるように通告します。

5月5日(火) レース予定及びスタート予告信号時刻

A湖面	B湖面
FJ級 SS級 ミニホッパー級上級者 シーホッパー級SR レーザー級ラジアル・4.7 第5レース 08:55 第6.7レース 引続き	ミニホッパー級初級者 (6艇以上エントリーある場合) (6艇未満の場合は上級者と 一緒にレースを実施) 第5レース 08:55 第6.7レース 引続き
OP級上級者 第5レース 09:00 第6.7レース 引続き	OP級初級者 第5レース 09:00 第6.7レース 引続き

第1日目に5レースを行った場合は、第2日目の最初のレースは、第6レースとなります。この日は12:00以降のスタートは行わない。

5. クラス旗

クラス旗は、以下の通りとします。

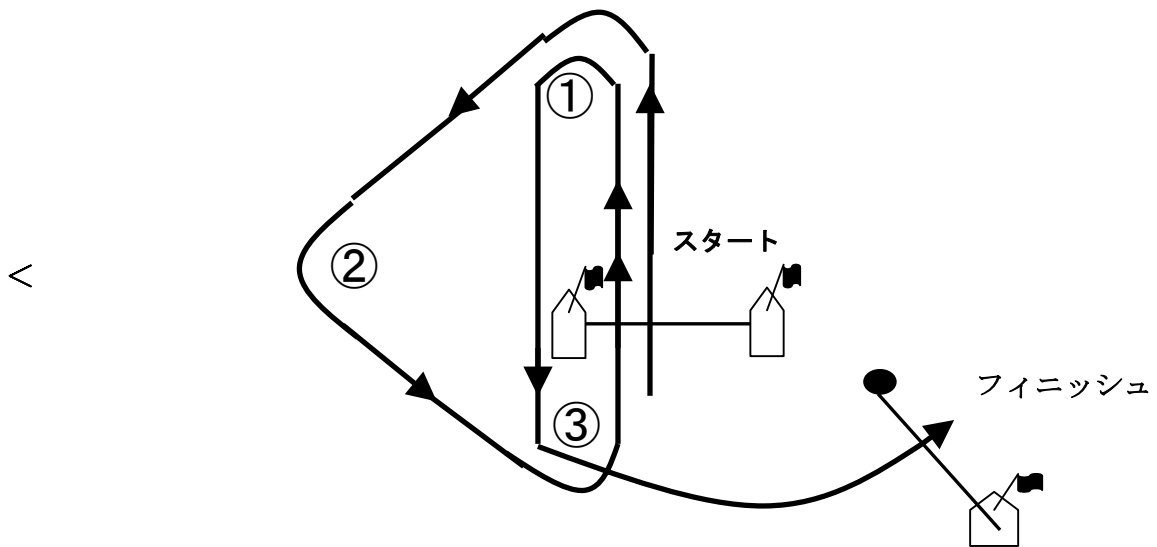
- (1) A湖面(上級者) シーホッパー級SR……………シーホッパー級SR旗  
 ミニホッパー級……………ミニホッパー旗  
 レーザー級ラジアル・4.7……………レーザーラジアル旗  
 FJ級 ……………FJ旗  
 SS級 ……………SS旗

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
|                | 上記全種目同時適用……………F 旗   |
|                | OP 級……………OP 旗 (黒)   |
| (2) B 湖面 (初級者) | OP 級……………OP 旗 (赤)   |
|                | ミニホッパー級……………ミニホッパー旗 |

6. レース湖面とコース

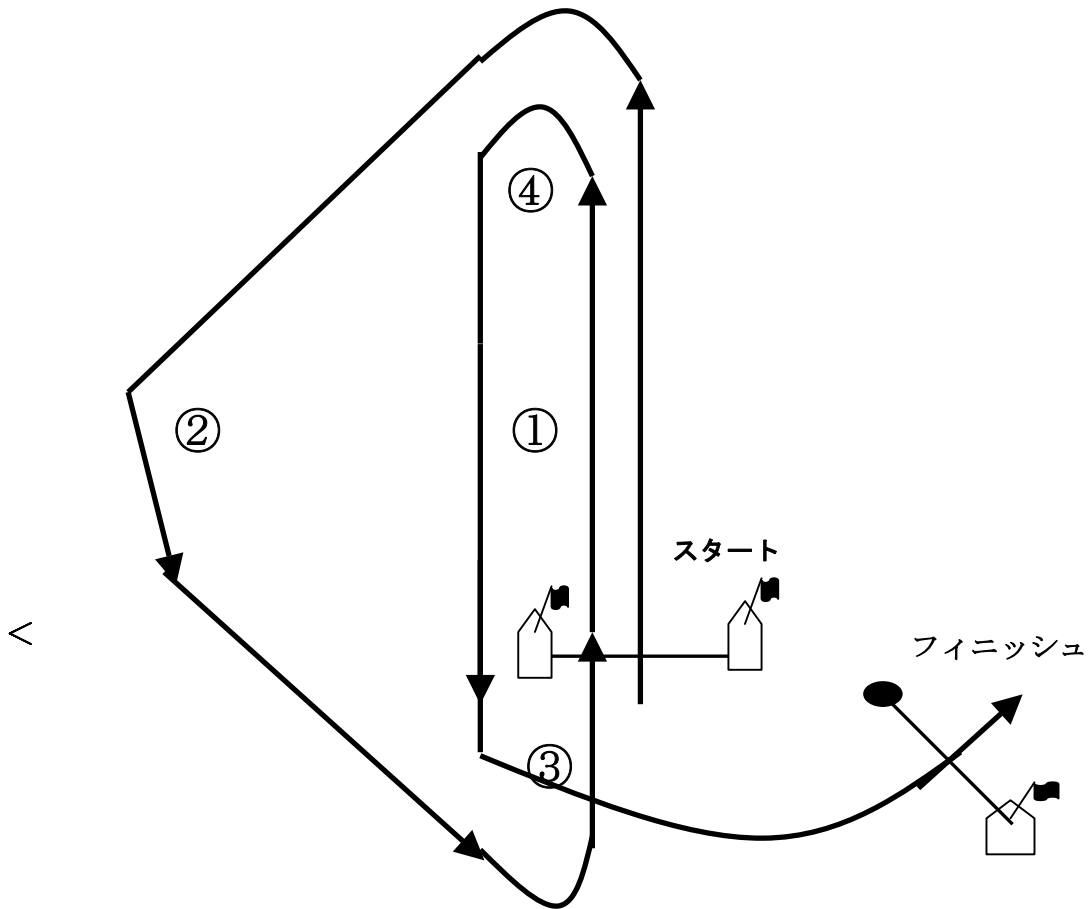
- (1) レース湖面は概ね別添図に示す通りです。
- (2) マークを回航する順序は下図に示します。
- (3) 両湖面ともスタート後のコース変更は行いません。

A 湖面 (OP 級上級者)      コース   S-1-2-3-1-3-F



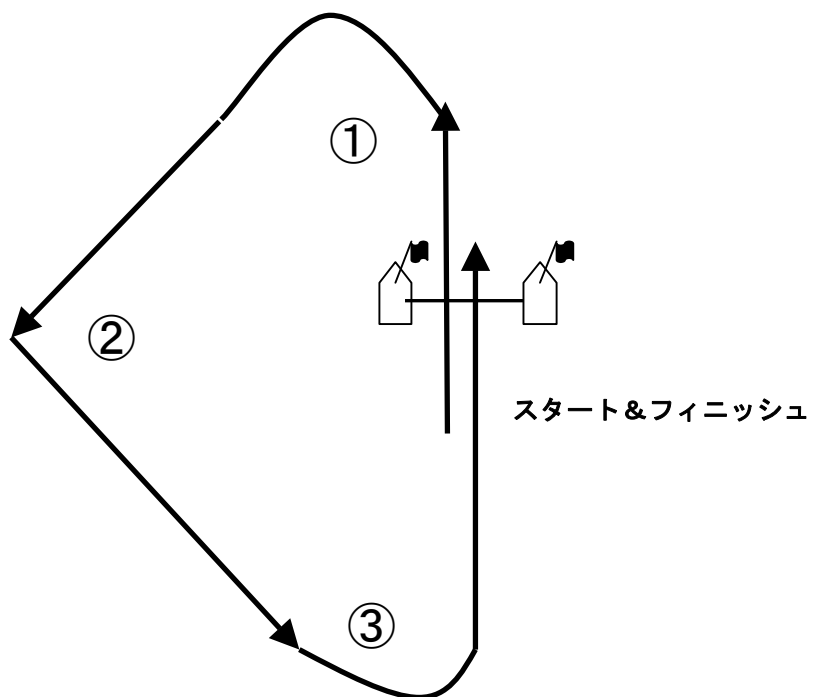
A湖面 (FJ級、SS級、シーホッパー級SR、レーザー級、ミニホッパー級上級者)

コース S-4-2-3-4-3-F



B湖面 (ミニホッパー級初級者) (OP級初級者)

コース S-1-2-3-F



## 7. 使用するマークの説明

マークは以下のものを使用する。

- (1) A湖面…… 1、2、3の数字を表示した黄色のマークと4の数字を表示した赤色のマークを使用します。
- (2) B湖面…… 1、2、3の数字を表示した黄色のマークを使用します。

## 8. スタート

- (1) スタートは、規則26によって行います。

時間	信号	旗	音響信号
スタート5分前	予告信号	クラス旗 揚げる	短音1声
スタート4分前	準備信号	P旗、I旗又は黒色旗 揚げる	短音1声
スタート1分前	1分前信号	P旗、I旗又は黒色旗 降ろす	長音1声
0	スタート信号	クラス旗 降ろす	短音1声

スタート信号は、湖上本部船で行います。

次にスタートするクラスがある場合、その予告信号は先にスタートするクラスのスタート信号と共に発します。

- (2) スタートラインは2艇の運営艇のオレンジ旗を揚げたポールまたはマストの間とします。
- (3) スタート信号が発せられたクラスの艇は、スタート信号から4分過ぎるとスタートできません。
- (4) スタートが延期される時は、音響信号2声とともにAP旗を揚げます。次の予告信号は、音響信号1声とともにAP旗が降りてから1分後に発します。
- (5) B湖面のスタートに関しては運営艇から指導することがあります。

## 9. リコールとゼネラルリコール

- (1) リコール艇があった場合は、音響1声とともにX旗を揚げます。また、B湖面ではリコール艇のセール番号を出来る限り口頭で通知します。  
X旗は、リコール艇の全てがリコールを解消するまで揚げておきますが、リコール艇の全てがリコールを解消していなくてもスタート信号後4分経過した時点で降ろします。
- (2) リコール艇が多く判断できなかった場合は、ゼネラルリコールとします。  
その場合、音響信号2声とともに第一代表旗を揚げます。
- (3) ゼネラルリコールの発せられた後の新たな予告信号は、音響1声とともに第一代表旗が降りた1分後に発します。
- (4) スタートには、30.1「I旗規則」または30.3「黒色旗規則」を用いることがあります。この時は、準備信号にI旗または黒色旗を揚げます。
- (5) 「I旗規則」に違反した艇がある場合にも、音響1声とともにX旗を揚げます。X旗は、違反した全ての艇が規則に従うまで揚げておきますが、違反艇の全てが規則に従っていない場合でもスタート信号後4分経過した時点で降ろします。
- (6) 「黒色旗規則」が用いられたレースでゼネラルリコール信号が発せられた場合またはそのレースが中止となった場合には、レース委員会は、「黒色旗規則」に違反した艇のセール番号を本部船上に掲示しますが、口頭でも当該艇に伝えます。「黒色旗規則」に違反した艇は、そのレースが、再スタートまたは再レースとなった場合、そのレースで帆

走することはできません。

#### 10. フィニッシュ

- (1) フィニッシュ・ラインは、A湖面ではスターボード側の端に位置する青色旗を掲げた運営艇のオレンジ旗を掲げたマストまたはポールと赤色のマークの間とします。B湖面ではスターボード側の端に位置する青色旗を掲げた運営艇のオレンジ旗を掲げたマストまたはポールとオレンジ旗を掲げたもう1艇の運営艇のマストまたはポールの間とします。
- (2) コース短縮の場合は、スターボード側の端に位置するクラス旗の上にS旗と青色旗を掲げた運営艇のオレンジ旗を掲げたマストまたはポールと短縮となるマークとの間とします。

B湖面は運営艇より口頭で選手に伝えます。

#### 11. タイムリミット

各クラスの先頭艇がフィニッシュしてから20分後をタイムリミット（レース終了）とします。タイムリミットまでにフィニッシュなかった艇は、DNFとします。

B湖面では、本部艇委員長の裁量によりタイムリミットの延期または短縮をすることがあります。

#### 12. 抗議

- (1) 抗議するヨットは、相手艇に抗議する意思を伝え、運営艇に相手艇のセール番号を報告しなければなりません。
- (2) 艇の抗議は、「その抗議に直接関係したヨットに限り抗議することができる。」こととします。
- (3) 抗議は、陸上本部に用意してある用紙に記入し、その日の最終レースが終了してから60分以内に、陸上本部に提出すること。この時間は、プロテスト委員会が、やむをえない状況により遅れたと判断した場合、延長する場合があります。
- (4) 審問は、抗議書が提出されてから、プロテスト委員会で行います。
- (5) B湖面では、原則として抗議は行わないこととしますが、故意にルール違反をしたと見られる場合、また、マナーに係ることでレース委員会が抗議を出すこともあります。

#### 13. 得点

- (1) 競技規則付則Aに規定された低得点方式を用います。  
なお、総得点で同得点となった場合は、同付則A8によりタイを解き順位を確定します。
- (2) 7レース成立した場合は、最も悪い得点をカットしたレースの得点を合計し、総得点を計算します。
- (3) 失格（DSQ、DNE、DGMおよびBFD）とされた艇の得点は、「参加艇数+3」位の得点を記録します。

#### 14. 大会の成立

各クラスとも7レースを予定しますが、1レースの完了をもって大会の成立とします。

#### 15. 失格に代わる罰則

競技規則44.2（2回転ペナルティ）を用います。

#### 16. 出艇申告と帰着申告

各ジュニアヨットクラブの出艇・帰着申告責任者は、選手全員の出艇・帰着を確認し陸上本部にその都度、速やかに申告しなければなりません。

また、リタイヤする選手、途中リタイヤした選手がいる場合も、出艇・帰着申告責任者は、速やかに申告しなければなりません。

出艇申告は、予告信号の60分前から30分前までに行います。

帰着申告はその日の最終レース終了後60分以内に行ってください。

#### 17. クラブ支援艇

(1) 陸上本部に申告することにより、クラブ支援艇の使用を認めます。ただしこれらのクラブ支援艇は、レース委員会(湖上では各運営艇)より救助活動の要請がある場合以外は、レース湖面の外側を航行しなければなりません。

(2) クラブ支援艇は、下記の「救助体制」に基づいて発せられるレース委員会の指示(湖上での救助艇への指示は運営艇に信号旗を掲揚)により行動してください。

「救助体制」	救助体制1	微風・順風のコンディション
	救助体制2	中風 波が高い 夕暮れ近く 霧の発生が予測される。
	救助体制3	強風～非常事態発生 日没時 濃霧と視界限界制限状態

〈救助体制1〉 救助指揮艇に「赤十字旗」を揚げる。  
救助部の救助艇のみで救助活動を行う。支援艇は、あらかじめA、B湖面に振り分けられ、その湖面に位置し、応援可能な状態にある。

〈救助体制2〉 救助指揮艇に「赤十字と赤旗」を揚げる。  
レース委員長より全運営艇に指示を出す。  
救助部の救助艇 + 支援艇数の1/2  
指示されたエリアにて活動する。レースごとに交代する。

〈救助体制3〉 救助指揮艇に「赤十字旗と赤旗2枚を」を揚げる。  
レース委員長より全運営艇に緊急指示を出す。

全支援艇は即救助体制に入る。

陸上本部要員及び全ての陸上指導者保護者の緊急体制をとる。状況に応じ富士吉田警察署、山中湖村消防団に連絡を取る。

#### 18. 安全等

- (1) 出場選手は、出艇から帰着までの間、必ず有効な浮力をもつライフジャケットを着用しなければなりません。
- (2) レース艇は、救助及び曳航のために、直径5mm以上で8m以上のバウラインを搭載しなければなりません。
- (3) 救助を求める時は救助する船に向かって手のひらを大きく広げ横に振り意思表示をしてください。
- (4) 危険と判断した場合は選手の意志に関係なく救助することがあります。
- (5) リタイヤをする場合は、近くにいる運営艇にリタイヤの意思をできるだけ伝えてください。
- (6) 艇は、湖にゴミを捨ててはいけません。湖上で発生したゴミは、各自で持ち帰ることを原則とします。

#### 19. 識別マーク

B湖面に出場する艇は、レース委員会で用意した識別マークをセールのピークにつけなければなりません。

#### 20. 責任

大会期間中、参加者に関して（陸上又は湖上等で）発生した傷害等及び物品の破損、損害は、参加者、保護者、指導者の責任とします。

#### 21. 帆走指示書第16項から第19項に関する違反については、レース委員会の裁量によりペナルティーを課すことがあります。



## 信号一覧表

### 【陸上で発せられる信号】

事項	旗	状態	音響信号	意味
選手への通告	L旗	揚げる	短音1声	レース委員会からの通告が公式掲示板に掲示されました。
〃	AP旗/ (クラス旗)	揚げる	短音2声	(当該クラスの) レースが延期されています。
〃	AP旗/ (クラス旗)	降ろす	短音1声	(当該クラスの) 予告信号は30分以降に発せられます。
出艇の許可	黄色旗 (クラス旗の上に)	揚げる	短音1声	(当該クラス) A湖面のレース艇は、レース湖面に出艇しなさい。
〃	白旗 (クラス旗の上に)	揚げる	短音1声	(当該クラス) B湖面レース艇は、レース湖面に出艇しなさい。
レース中止	AP旗/A旗	揚げる	短音2声	本日は、これ以上レースは行わない。
抗議	B旗/クラス旗	揚げる	短音1声	(当該クラスの) 抗議を受付けます。
抗議	B旗/クラス旗	降ろす	短音1声	(当該クラスの) 抗議受付を終了しました。

### 【湖上で発せられる信号】

事項	旗	状態	音響信号	意味
選手への通告	L旗	揚げる	短音1声	声の届くところに来なさい。
レース延期	AP旗	揚げる	短音2声	まだスタートしていない全てのレースは、延期されました。
〃	AP旗	降ろす	短音1声	予告信号は1分後に発します。
〃	AP旗/H旗 (クラス旗の上に)	揚げる	短音2声	(当該クラスの) レースが延期されます。 その後の信号は陸上で発します。
予告信号	クラス旗	揚げる	短音1声	スタート5分前です。
準備信号	P旗、I旗 又は黒色旗	揚げる	短音1声	スタート4分前です。I旗または黒色旗の場合、I旗規則または黒色旗規則が適用されます。
1分前信号	P旗、I旗 又は黒色旗	降ろす	長音1声	スタート1分前です
スタート信号	クラス旗	降ろす	短音1声	スタートです。
リコール旗	X旗	揚げる	短音1声	リコール艇があります。
ゼネラルリコール	第1代表旗	揚げる	短音2声	ゼネラルリコール
〃	第1代表旗	降ろす	短音1声	予告信号は、1分後に発せられます
スリット	オレンジ旗	揚げる	なし	スタート及びフィニッシュの見通しラ

				インです。
フィニッシュ艇	青色旗	揚げる	なし	「ここがフィニッシュ」を意味します。
コース短縮	S旗 (クラス旗の上に)	揚げる	短音2声	(当該クラスの) コースは短縮されました。 回航マークとこの艇の間をフィニッシュせよ。
マーク信号	M旗	揚げる	反復	マークが紛失・流れた場合の代替りです。 マークの代わりに、この信号を揚げたものを 回航又は通過しなさい。
レースの中止	N旗 (クラス旗の上に)	揚げる	短音3声	(当該クラスの) レースは中止されました。 その後の信号はスタート・エリアで発します。
〃	N旗 (クラス旗の上に)	降ろす	短音1声	(当該クラスの) 次の予告信号は、1分後に 発します。
帰港信号	N旗/H旗 (クラス旗の上に)	揚げる	短音3声	(当該クラスの) レースは中止されました。 速やかにハーバーへ帰港しなさい。 その後の信号は陸上で発します。
集合信号	R旗 (クラス旗の上に)	揚げる	なし	(当該クラスの) 引き続きレースを行います。 速やかに本部船の近くに集合しなさい。
〃	R旗 (クラス旗の上に)	降ろす	短音1声	(当該クラスの) 引き続きのレースの 予告信号は1分後に発します。
救助要請	赤十字旗	揚げる	なし	救助部の救助艇のみで救助活動を行う。
〃	赤十字旗 赤色旗1枚	揚げる	なし	救助部の救助艇 + 支援艇数の1/2で 救助活動を行う
〃	赤十字旗 赤色旗プラス2枚	揚げる	なし	全運営艇、支援艇は救助体制に入る。 陸上本部要員、保護者、指導者救助体制に入る 状況に応じ警察署、消防署に連絡をとる。

